【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第７部門第４区分
【発行日】平成23年7月21日(2011.7.21)

【公開番号】特開2009-100627(P2009-100627A)
【公開日】平成21年5月7日(2009.5.7)
【年通号数】公開・登録公報2009-018
【出願番号】特願2007-272478(P2007-272478)
【国際特許分類】
Ｈ０２Ｋ　7/06　(2006.01)
【ＦＩ】
Ｈ０２Ｋ　7/06　Ｂ

【手続補正書】
【提出日】平成23年6月8日(2011.6.8)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】請求項１
【補正方法】変更
【補正の内容】
【請求項１】
コイル励磁により回転可能に構成される回転子を備えた駆動手段と、
該駆動手段の回動に連動して回転可能に設けられ、底部から軸線方向に向けて延出する所定のカム面が形成されたカム体と、該カム体の回転によって所定の案内手段に案内されながら前記カム面に沿って従動する進退移動可能な従動軸とを備えたカム手段とからなり、
前記駆動手段とカム手段は、前記回転子と前記カム体とを、前記回転子に隣設して一体回動すべく連結せしめてケーシング内に収容し、前記従動軸を、前記ケーシング前面から出没するモータの出力軸に構成したことを特徴とするカム駆動モータ。
【手続補正２】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】０００６
【補正方法】変更
【補正の内容】
【０００６】
上記課題を解決するために本発明が採用した技術手段は、コイル励磁により回転可能に構成される回転子を備えた駆動手段と、該駆動手段の回動に連動して回転可能に設けられ、底部から軸線方向に向けて延出する所定のカム面が形成されたカム体と、該カム体の回転によって所定の案内手段に案内されながら前記カム面に沿って従動する進退移動可能な従動軸とを備えたカム手段とからなり、前記駆動手段とカム手段は、前記回転子と前記カム体とを、前記回転子に隣設して一体回動すべく連結せしめてケーシング内に収容し、前記従動軸を、前記ケーシング前面から出没するモータの出力軸に構成したことを特徴とするものである。